

新しい対馬の創造へ向けて
第1次対馬市総合計画が策定されました

対馬市の新しいまちづくりの基本的な計画となる第1次対馬市総合計画が策定されました。

総合計画とは、地方自治法によって市町村に策定が義務づけられているもので、地域の発展の為に立てられる各種の具体的な計画のすべての基本となるものです。

同計画では、これからの10年間（平成18年度～平成27年度）のまちづくりの指針を「基本構想」としてま



とめ、その実現に向けて取り組む施策を「基本計画」として明らかにしています。

また、計画については、平成23年度からの後期5年間の開始にあたって、社会的、経済的要因等による情勢の変化や主要事業の評価、新たな市民ニーズなどを踏まえて、改めて見直すことになっています。

なお、この計画の詳細については市のホームページ（<http://www.city.tsushima.nagasaki.jp/>）で公開する予定です。

第1次総合計画（案）を対馬市長に答申する審議会メンバー

右から（平井善正会長、吉村正孝副会長、廣田幸雄委員、永留武光委員）

問い合わせ先
政策部政策企画課

53-6111

男女共同参画計画の策定へ向け
初の懇話会を開催

2月24日に設置された対馬市男女共同参画推進懇話会の初めての会合が、同日、美津島文化会館で開催されました。

同会は、対馬市における男女共同参画計画を作成するにあたり、広く意見を聞くために設置されたもので、市内の学識経験者等の中から選ばれた10人の委員（任期2年）で構成されています。

会合では、まず市長より委員一人ひとりに委嘱状が手渡された後、会長・副会長選出に続き、今後の活動内容やス



懇話会の様子

ケジュール等について確認されました。

市では今後、性別に関係なく個性と能力を十分に発揮できる地域づくりを目指し、住民アンケートや懇話会を通して、家庭や職場等での男女共同の実態の調査・研究等を行い、平成18年度中に地域の特徴を活かした計画の策定を行うことを目標としています。

【会員名簿】（敬称略）

会長：小嶋多鶴子（厳原・県男女共同参画推進員） 副会長：安田親男（厳原・ボランティアグループ代表） 齋藤利光（豊玉・商工者代表） 永留縫子（峰・農業者代表） 財部久仁信（上対馬・PTA代表） 豊田涼子（美津島・食生活改善推進員協議会） 西山悦子（美津島・対馬人権擁護委員協議会） 佐伯満智子（上県・対馬地区人権教育研究会） 小島徳重（美津島・中学校長） 平田幹子（上対馬・県男女共同参画推進員）

今年、最初の家畜市
まずまずの価格でした



肉用牛などの取引を行う家畜市が、美津島町雑知にある対馬家畜市場で、3月6日に開催されました。

今年最初の市には、市内から78頭（子牛66頭、成牛12頭）の肉用牛が入場し、競りにかけられました。平均取引額は311,810円で、昨年11月の家畜市に比べ、44,000円ほど低くなりましたが、BSE問題などの影響や、食の安全の関心からまずまずの価格で取引が行われました。

対馬の玄関口をきれいに 厳原町の女性団体が清掃ボランティア

厳原町女性団体（代表者：吉見優子さん、小嶋多鶴子さん）が、対馬の玄関口を自分たちできれいにしようと、昨年の12月4日と今年の2月26日の2日間、ボランティアで厳原港近辺の清掃作業を行いました。

今回の活動にはメンバーから約60名が参加し、伸び放題となっていた雑草を、クワを使って根っこから除去するなどして、ゴミ袋約90枚分を除草しました。

特に「全国エコツーリズム大会in対馬」への参加者を気持ちよく迎えたいとの思いもあり、作業にも熱が入ったようです。

雑草に埋もれていた花壇の花たちも、作業後は通行人に見やすくなりました。

同団体では、今後も同地を中心に観光地の清掃などの奉仕活動を年に数回程度行う予定です。



厳原町女性団体の構成：生活研究グループ連絡協議会、漁業協同組合女性部、商工会女性部、母子寡婦福祉協議会、食生活改善推進連絡協議会、更生保護女性連盟、厳原町母子保健推進委員会、退公連対馬支部女性部、地域婦人会連絡協議会

花の対馬ネットワークが、玄海ツツジを植栽



長渡稔治代表

美津島町のあそくベイパーク内に、玄海ツツジやヤマボウシなど対馬に自生する植物を植栽し、自然豊かな公園づくりに協力しているボランティアグループ「花の対馬ネットワーク」が、今年も2月18日、19日の2日間、玄海ツツジ5,000本を植え付けました。

植栽には、会員のほかに一般市民や高校生らがボランティアで参加。延べ60名の参加者が、会員の手で育てられた苗木（高さ30cm程）を山の斜面に次々に植えていきました。

同会は、公園内に3年前から「玄海ツツジ」の植栽を行っており、昨年までに約7,000本を植栽。最終的には、同公園内の7haの山林に10万本を植える予定です。

長渡稔治代表は「自然観察をして分かったことは、森の中で咲いている玄海ツツジは非常にきれいだという事。これからも自然の姿を学び、自然を活かした多様性のある公園づくりをしていこうと思います」と語っていました。

ボランティア参加者



豊玉高校3年生たち



親子で参加(井田さん 佐須地区)

お世話になっている地域に奉仕

「一校一役」運動で対高生が清掃活動

この活動は、長崎県の教育委員会が推進する社会貢献活動「一校一役」運動の一環として、普段お世話になっている地域の方々に喜んでもらい、観光地としての厳原の街を少しでもきれいにしようとの目的で実施されたものです。

生徒達はクラスごとに分かれ、割り当てられた担当箇所をくまなく歩き、道ばたに転がっている空き缶や、植え込みの中に紛れ込んだ可燃ゴミらを仲間と協力しながら、熱心に集めていました。

県立対馬高校の1・2年生徒(465名)が、3月13日、厳原市街の清掃活動を行いました。

